

JP2001222598A

Publication Title:

BRIDAL INFORMATION SYSTEM

Abstract:

Abstract of JP 2001222598

(A) PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a bridal information system which can widely expand not only a wedding itself but the information on the marriage. SOLUTION: A bridal information server 103 managed by a hotel 102 includes a storage area 161 that is corresponding to the Web site for each of wedding couples. The area 161 consists of a person-concerned area 162 used for the wedding couples and their new families, an attendant area 163 used for the attendants of the wedding, a mail exhibition area 164 used for storing and exhibiting the congratulatory telegram mails and a wedding recording area 165 used for storing the wedding photographs, etc., and exhibiting them.; A person concerned with the wedding accesses the server 103 to read the Web site via a personal computer 106, etc., for arising a tendency to the wedding, remembering the excitement of the wedding or expanding the businesses via his/her personal relations by means of electronic-mails. Meanwhile, the hotel 102 and its relative facilities or companies 169 provide the information to the attendants 166 of the wedding to secure them as customers and also give the services to the attendants 166 with various special favors.

Courtesy of <http://v3.espacenet.com>

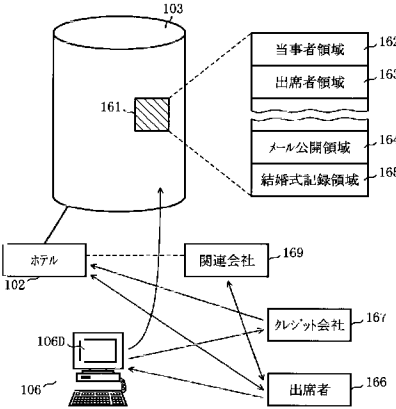
(51)Int.Cl.⁷識別記号F Iデマコト*(参考)
G 0 6 F 17/60C 0 6 F 15/21Z 5 B 0 4 9
3 3 0

審査請求 未請求 請求項の数7 O L（全 9 頁）

(21)出願番号	特願2000-30490(P2000-30490)	(71)出願人	500034918 株式会社ティス 東京都渋谷区渋谷3-15-3土屋ビル渋谷 7階
(22)出願日	平成12年2月8日(2000.2.8)	(72)発明者	大山 充 東京都品川区東大井5-5-13
		(74)代理人	100083987 弁理士 山内 梅雄 Fターム(参考) 5B049 BB11 BB46 BB52 BB70 CC02 CC05 CC36 DD01 EE05 EE07 FF02 FF03 FF04 FF06 GG03 GG04 GG06 GG07

(54)【発明の名称】 ブライダル情報システム

(57)【要約】
【課題】 結婚式自体だけでなく結婚に関する情報を長く、また広く展開することのできるブライダル情報システムを実現すること。
【解決手段】 ホテル102の管理するブライダル情報サーバ103には、結婚式を挙げるカップルごとに、ウェブ上のサイトに対応した記憶領域161が用意される。記憶領域161は、カップルおよびこれから発展する家族のための当事者領域162と、結婚式に出席した者の出席者領域163や、祝電メールを格納して公開するメール公開領域164や、結婚式の写真等を格納して公開する結婚式記録領域165から成る。結婚式の関係者は、パーソナルコンピュータ106等を用いてブライダル情報サーバ103にアクセスしてサイトを閲覧し、結婚式までの気運を盛り上げると共に式後は当時の感動を思い起こしたり、電子メールで人脈を活用したビジネスを展開する。ホテル102およびその関連施設や関連会社169は出席者166に情報を提供し、顧客として確保すると共に、各種特典を与えたサービスを提供する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 結婚する二人に関する情報としての当事者情報およびこれら二人の結婚から派生する所定の情報を予め定めた領域に蓄積し不特定人に公開するために用意されたインターネット上の結婚情報蓄積サーバと、前記結婚する二人およびその後の二人の築く家族の情報を前記結婚情報蓄積サーバの当事者領域に逐次書き込む結婚当事者データ書込手段と、結婚式の出席者の情報をそのリンク先と併せて前記結婚情報蓄積サーバの出席者領域に書き込む出席者データ書込手段とを具備することを特徴とするブライダル情報システム。

【請求項2】 前記出席者データ書込手段に書き込まれた結婚式の出席者に対してこれらの者が活用する可能性のある情報を配信する情報配信手段を具備することを特徴とする請求項1記載のブライダル情報システム。

【請求項3】 結婚式の参加予定者の電子メールのアドレスを登録する電子メール登録手段と、この参加予定者からの結婚式前の電子メールおよび参加できない者からの祝電に代わる電子メールを受信してこれらの中から所定のものを前記結婚情報蓄積サーバのメール公開領域に書き込むメール書込手段とを具備することを特徴とする請求項1記載のブライダル情報システム。

【請求項4】 結婚式の写真、ムービ、スピーチ等の記録を前記結婚情報蓄積サーバの結婚式記録領域に書き込む結婚式記録書込手段を具備することを特徴とする請求項1記載のブライダル情報システム。

【請求項5】 前記結婚情報蓄積サーバは、結婚祝および出産、入学祝等の送金処理をインターネット上で行う送金処理手段を具備することを特徴とする請求項1記載のブライダル情報システム。

【請求項6】 予算と対応付けて結婚式における引き出物の一覧を提示する一覧提示手段と、この一覧の中から引き出物を選択させる引き出物選択手段とを前記結婚情報蓄積サーバに具備させることを特徴とする請求項1記載のブライダル情報システム。

【請求項7】 選択された引き出物の発注を行う引き出物発注手段と、この引き出物発注手段によって発注された引き出物のうち発送を希望する者に対してそれぞれの送付先に発送する引き出物発送手段とを前記結婚情報蓄積サーバに具備させることを特徴とする請求項6記載のブライダル情報システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ブライダル情報すなわち結婚に関する情報を扱うブライダル情報システムに係わり、特にインターネットを活用したブライダル情報システムに関する。

【0002】

【従来の技術】インターネットの発展と共に結婚式に関する情報をインターネット上で得ようとする提案が行われている。たとえば特開平9-269962号公報には、結婚式場に関する情報をサーバに格納しておき、これを用いることで結婚式場を効率よく選択できるようにした技術が開示されている。また、特開平10-083418号公報には、結婚式場だけでなく結婚やブライダルに関連する業者の情報を画面上で提示するようにして、結婚式を挙げる者がこれらの情報を簡単に取得できるようにした技術が開示されている。更に特開平10-177601号公報には、結婚式場の選択や費用の算出、ブライダルパックの案内をインターネットを用いて行うようにした技術が開示されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】このようにインターネットという技術を活用すると、サーバ側にブライダルに関する情報を各種格納しておくことで、式場をネット上で見比べることが可能になり、費用等でもっとも適した式場を予約することができるようになる。しかしながら、これはいわゆるデータベースの検索のように欲しい情報を得るというだけのものでしかなく、二人で食へに行くラーメン店をインターネット上で探して予約するものと本質的にあまり相違しない。

【0004】一方で、現在の結婚式にはいろいろの問題があり、一部に結婚式離れも起きている。結婚式までに出席予定者に行う各種連絡が煩雑であるとか、結婚式でもらった祝電の保管や結婚式の写真を出席者に個別に配布するのが面倒であるしコストもかかるといった点等である。また、結婚式で多くの人と知り合っても、その場だけの付き合いに終わり、人脈の構築に生かせないという問題もある。更に、結婚した当人もその後、子供が生まれる等で引越しを行う場合が多く、ごく近い関係になければ、やがては連絡したくても居場所が分からなくなること多かつた。

【0005】そこで本発明の目的は、結婚式自体だけでなく結婚に関する情報を長く、また広く展開することのできるブライダル情報システムを提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】請求項1記載の発明では、(イ)結婚する二人に関する情報としての当事者情報およびこれら二人の結婚から派生する所定の情報を予め定めた領域に蓄積し不特定人に公開するために用意されたインターネット上の結婚情報蓄積サーバと、(ロ)結婚する二人およびその後の二人の築く家族の情報を結婚情報蓄積サーバの当事者領域に逐次書き込む結婚当事者データ書込手段と、(ハ)結婚式の出席者の情報をそのリンク先と併せて結婚情報蓄積サーバの出席者領域に書き込む出席者データ書込手段とをブライダル情報システムに具備させる。

【0007】すなわち請求項1記載の発明では、インタ

ーネット上に結婚情報蓄積サーバを用意し、結婚する二人およびその後の二人の築く家族の情報を当事者領域に逐次書き込むことができるようにすると共に、結婚式の出席者の情報をそのリンク先と併せて結婚情報蓄積サーバの出席者領域に書き込むようにしている。当事者領域への書き込みと公開によって例えば二人の結婚前の歴史が分かり、結婚後も家族の成長等を公表できる。また、転勤や住所の移転があっても結婚情報蓄積サーバを通じて連絡場所が確保されると共に、結婚当事者にとっては結婚情報蓄積サーバへの書き込みの継続によって人生の大きな部分の足跡を記録することができる。更に出席者の情報がその所在を表わした電子メール等のリンク先の情報と共に結婚情報蓄積サーバに書き込まれるので、結婚式を利用した新たな人脈の確立が可能になる。なお、当事者領域や出席者領域は情報の種類を区別した概念として使用しており、必ずしも物理的に区切られた領域が記憶媒体上に設定されることを意味しない。

【0008】請求項2記載の発明では、請求項1記載のブライダル情報システムで、出席者データ書込手段に書き込まれた結婚式の出席者に対してこれらの者が活用する可能性のある情報を配信する情報配信手段を具備することを特徴としている。

【0009】すなわち請求項2記載の発明では、情報配信手段が結婚式の出席者に対してこれらの者が活用する可能性のある情報を配信することにしたので、ホテル等の産業が、結婚式に参加した者に電子メールやダイレクトメールを送り、顧客として確保することが可能になる。

【0010】請求項3記載の発明では、請求項1記載のブライダル情報システムで（イ）結婚式の参加予定者の電子メールのアドレスを登録する電子メール登録手段と、（ロ）この参加予定者からの結婚式前の電子メールおよび参加できない者からの祝電に代わる電子メールを受信してこれらの中から所定のを結婚情報蓄積サーバのメール公開領域に書き込むメール書込手段とを更に具備することを特徴としている。

【0011】すなわち請求項3記載の発明では、結婚情報蓄積サーバがインターネット上に配置されている利点を生かして、電子メールのアドレスを結婚式の前からサーバ側に登録し、祝電メールを受け付けて公表し、結婚式に向かってムードを盛り上げると共に、結婚式に参加できなかった者の祝電を公開するようにしている。このように関係者の電子メールを登録することで、出欠等の連絡をスムーズにしたり、祝電メールの登場で、結婚式に間接的に関与する人間の数を増加させることができる。

【0012】請求項4記載の発明では、請求項1記載のブライダル情報システムで結婚式の写真、ムービ、スピーチ等の記録を結婚情報蓄積サーバの結婚式記録領域に書き込む結婚式記録書込手段を具備することを特徴とし

ている。

【0013】すなわち請求項4記載の発明では、結婚式の写真、ムービ、スピーチ等の記録を結婚情報蓄積サーバの結婚式記録領域に書き込んで公開することで、これらの写真等をサーバ上で共有にし、必要なものを個人がダウンロードして保管あるいはプリントできるようにしている。これにより発送側の費用と手間の削減を図ると共に、このための結婚情報蓄積サーバへのアクセスは結婚式場の宣伝にもなる。

【0014】請求項5記載の発明では、請求項1記載のブライダル情報システムで結婚情報蓄積サーバは、結婚祝および出産、入学祝等の送金処理をインターネット上で行う送金処理手段を具備することを特徴としている。

【0015】すなわち請求項5記載の発明では、祝金等の送金処理をインターネット上で可能にして、入出金処理の明確化と簡素化を図っている。

【0016】請求項6記載の発明では、請求項1記載のブライダル情報システムの結婚情報蓄積サーバに予算と対応付けて結婚式における引き出物の一覧を提示する一覧提示手段と、この一覧の中から引き出物を選択させる引き出物選択手段とを具備させることを特徴としている。

【0017】すなわち請求項6記載の発明では、たとえばディスプレイ上で引き出物の種類等を選択させて真に喜ばれる記念品を実現するようにしている。

【0018】請求項7記載の発明では、請求項6記載のブライダル情報システムで、選択された引き出物の発注を行う引き出物発注手段と、この引き出物発注手段によって発注された引き出物のうち発送を希望する者に対してそれぞれの送付先に発送する引き出物発送手段とを結婚情報蓄積サーバに具備させることを特徴としている。

【0019】すなわち請求項7記載の発明では、引き出物をインターネット上で選択するのと併せて発送もインターネット上で注文を受けるようにして発注から発送までを合理化すると共に、重い荷物を結婚式場から持って帰る不便さを解消するようにしている。

【0020】

【発明の実施の形態】

【0021】

【実施例】以下実施例につき本発明を詳細に説明する。

【0022】図1は本発明の一実施例におけるブライダル情報システムの構成の概要を表わしたものである。このシステムは、インターネット網101を使用している。インターネット網101には、ホテル等の結婚式場102の管理するブライダル情報サーバ103が接続されている他、旅行業者のサーバ104等の各種の業者のサーバ（ここでは1つのみを例示）が接続されている。更に、インターネット網101にはインターネット上のコンテンツを直接閲覧するためのパーソナルコンピュータ106（ここでは1つのみを例示）が接続されてい

る。携帯電話機等の無線端末107、108（ここでは2つのみを例示）も基地局を介してインターネット網101と接続されるようになっている。

【0023】図2は、ブライダル情報サーバを中心としてブライダル情報システムがどのように作動するかを表わしたものである。二人（以下カップルという。）が婚約し、式場を予約したとする。ここでは図1に示したホテル等の結婚式場102が予約されたとする。結婚式場102はブライダル情報サーバ103を所有するか、特定の業者を介してこれを管理している。カップルはこの時点から、そのホテルを選択した1つの得点としてブライダル情報サーバ103に所定のURL（uniform resource locators）を与えられる。したがって、この時点からそのカップル独自のサイト（site）を立ち上げることができる。したがって、カップルがたとえば図1に示した無線端末107、108から婚約の通知を電子メールで行う等によって、誰でもそのサイトを訪れることができる。また、どのホテルで結婚すると通知するだけで、そのホテルのホームページにアクセスして検索することで、そのカップルのサイトを見つけることができる。

【0024】図3は、婚約時に立ち上げられたサイトの表示画面の一例を示したものである。たとえば図1のパーソナルコンピュータ106のディスプレイ106Dには、タローとハナコのカップルが婚約したことと、カップルの写真121が表示されている。また写真の下には、「二人の歴史」、「結婚式の予定」、「祝電メールの受付」、「メールの登録」、「ABCホテルについて」等のリンク情報が記されている。

【0025】ここで「二人の歴史」をマウス等のポインティングデバイスでクリックすると、カップルの生い立ちや出会いが記されており、そのカップルに対する理解を深めることができる。「結婚式の予定」をクリックすると、結婚式の日時等が表示される。「祝電メールの受付」をクリックすると、書き込みを行える画面が表示されて、電子的な祝電ともいべき書き込みをホームページ上で直接行うことができる。このとき、自分の写真を貼り付けたり、祝電の背景画像や各種画像を選択して、カラフルな祝電を作成することも可能である。なおシステムによっては、管理者側が表現の不適切な祝電メールを修正したり、削除することができることは当然である。

【0026】「メールの登録」をクリックすると、このサイトに訪れた者の電子メールを登録することができる。したがって、偶然あるいは友人の連絡等でこのサイトに訪れた者は電子メールのアドレスを登録することによって、出席等に関する情報を受け取ることができるようになる。「ABCホテルについて」をクリックすると、そのホテルの情報を得ることができる。ABCホテルとは、このブライダル情報サーバ103を管理するホテル

であり、ホテルが東京にあるのか地方にあるのか等の地図情報や、そのホテルの結婚式場の案内等のホテルに関する各種情報へのリンクが張られている。

【0027】このように挙式が行われるまでの間、図2に示したようにこのホームページおよび電子メールを使用して結婚式の出席予定者および友人等の間で各種のコミュニケーションを展開することができる。また、ホテル側も結婚式出席予定者に対してホテルの宿泊の割引やその土地の観光バスの割引等の各種の有益な情報を、登録した電子メールのアドレスに対して送信したり、結婚式が近づいた場合には近づいた旨の通知を行うことができる。

【0028】挙式の当日になると、カップルの設定によって結婚式をデジタル記録方式で記録することができる。これはホテル側のユニークなサービスの1つとなるが、たとえば結婚式の撮影に習熟したスタッフを送り込んで、ムービーやスチル写真をデジタル方式で記録する。そしてこれをその当日のうちに編集して、ホームページ上に公開する。

【0029】図4は、結婚式が行われた時点でのそのカップルのサイトの表示画面の第1ページ目を表わしたものである。ディスプレイ106Dに表示されたサイトの第1ページには、タローとハナコのカップルが結婚したことと、結婚式の二人の写真131が表示されている。また写真の下には、「二人の歴史」、「現在活躍中」、「挙式・披露宴」、「二次会で大騒ぎ」、「当日こぼれ話」、「祝電メール」のリンク情報132が記されており、その下には当日撮影した写真の複数コマの縮小版133が掲載されている。

【0030】ここで「現在活躍中」は、カップルの職場での活躍等を描いた説明文や写真で構成されている。このページは新郎や新婦の会社のホームページにもリンクされており、会社や職場環境が理解できるだけでなく、彼らの将来にも大きく関係する会社自体の宣伝にも役立つ構成となっている。「挙式・披露宴」、「二次会で大騒ぎ」、「当日こぼれ話」は、披露宴に参加した人もしなかった人も後から楽しめるようなページ構成となっており、これらを通じて新郎、新婦やその家族、友人、同僚に対する認識と親しみが深まるようになっている。

【0031】図5は、「祝電メール」にリンクされている祝電メールのページの一例を表わしたものである。ディスプレイ106D上に表示された祝電メールのページには、祝電をこのページで受け付ける旨の記載と、このカップルの意思によって、このページに書き込まれた祝電は、電報による従来の祝電と全く同等の扱いとしたい旨の記載141が行われている。この記載の下に、祝電メール本文142が発信人ごとに分けて掲載されている。

【0032】電報による従来の祝電はそれなりの重みがあるものの、せっかく電報を打っても、一部の電報以外

は結婚式で読まれることなく保管されるだけである。カップルが後で取り出して読む機会があるにせよ、ほとんどは決り文句からなり、また予算から来る長さの制限もあって祝福の気持ちが伝わりにくいという現実がある。そこで統計によれば、結婚した人のほとんどは電報を数年しか保管しておらず、10年以内に処分してしまっている。

【0033】本実施例のブライダル情報システムに組み込まれている「祝電メール」は、電子メールとして祝電が送られてきたものや、ホームページ上で掲示板形式に祝電を書き込むもので、デジタルデータとしてブライダル情報サーバ103に保管されることになる。したがって、このブライダル情報サーバ103が結婚後も人生の経緯を示す記憶媒体として保存されたり、他の業者に移管されて管理される限り、祝電メール本文142を誰でも何時でも読むことができ、当時を振り返ることができる。もちろん、祝電メール本文142を自分のコンピュータにダウンロードして保管したり、CD等の記憶媒体にこの結婚式の写真等の他の情報と共に焼き込んで保管することも可能である。この場合には、大量の情報が一枚のディスク等に収まるので保管場所が問題となることはない。しかも「祝電メール」によれば、誰でも経済的に祝電を送ることができるだけでなく、写真や動画を挿入することも場合により可能である。

【0034】図4に戻って説明を続ける。当日撮影した写真の複数コマの縮小版133は、それぞれの写真ごとにブライダル情報サーバ103内の拡大写真のファイルにリンクしている。したがって、所望の写真を選択してクリックすることで、別のページでこれらの拡大写真を見ることができる。写真の中には動画もサンプル画像としてその1コマが挿入されていてもよいし、別に動画のサンプル画像の表示領域が用意されていてもよい。ホテル側が提供するページには、デジタル画像を記録する専門の撮影スタッフが撮影した画像が掲載されることになる。したがって、デジタル処理ということもあって、結婚式が終了した当日にその画像を確認することもできるし、スキルと画像処理によって結婚式の感動を高度に再現することができる。また、デジタル的に保存された状態でインターネット上で公開されるので、「祝電メール」の場合と同様に保管に苦勞することがなく、結婚式を挙げたカップルの側でも、多くの出席者や出席できなかった友人に写真を選別して配布するという手間と経済的な負担から開放される。

【0035】もちろん、ブライダル情報サーバ103には結婚式で友人等のとった写真を追加してもよいし、このような写真のコンテストを行ってもよい。更に結婚式に訪れた未婚者の写真をクローズアップして、結婚に対する抱負等の文章を付加することにより、式場で初めて出会った者同士およびこれらの者を起点とした人間の繋がりを図ることができる。

【0036】サイト上の写真はバックアップ体制の整ったブライダル情報サーバ103に保管されていれば、「祝電メール」等の他の情報と共に半永久的に残ることになり、銀塩写真のように色あせたり、カビが発生することもない。更に個人がコンピュータの内部に保管する場合のようなうっかりミスによるデータの消去という心配もない。更にある程度高解像度でこれらの写真をファインリングしておけば、ブライダル情報サーバ103にアクセスした者がこれを任意の用紙サイズでプリントアウトすることも可能である。

【0037】なお、日本でも最近急速にインターネットの常時接続の環境が整っているが、この環境では比較的大型の絵画風のディスプレイを壁にかけ、ここに所定のプログラムで各サイトの画像を取り込んで「日替わり」式に表示するといったことも可能になる。このような環境下では、本人あるいは親族あるいは友人の結婚記念日にブライダル情報サーバ103に自動的にアクセスしてこれらの写真をディスプレイするようにプログラミングすることも可能である。これにより、格好なタイミングで当時の感動がよみがえると共に、ブライダル情報サーバ103との継続的な繋がりを保つことができ、ホテル側は長い付き合いを行える顧客を確保することができる。顧客の確保は、ブライダル情報サーバ103の中の情報を無料でかつ信頼性を保って永続的に保管する経済的な基盤となるという点でも重要である。すなわち、ブライダル情報サーバ103は、結婚式に出席した人々に旅行、家具等の各種有形無形の商品の購入のための情報や利便さを提供したり、ホテルを反復利用してもらう手段として、経済的に大変有益であることはいうまでもない。このために、電子メールや既存のダイレクトメールが活用できることも当然である。

【0038】以上の点を踏まえて、図2のシステムの時間的な流れを見てみる。挙式が終わった後もブライダル情報サーバ103はこのカップルのためのホームページ（コンテンツ）を継続して保持しており、だれでもこのサイトを訪ねることができる。したがって、カップルは新婚旅行が終わったら旅行の様子や旅行のときに撮影した画像情報をこのホームページに追加して、報告を行う。また、出産や昇進、転職、引越による住所変更等の出来事を随時このホームページにアップロードする。特に結婚からわずかな時期は、異動やマンションあるいは一戸建てのマイホームの購入等によって住所が変わることが多く、クラス会等の会合を開こうとしても連絡網から外れてしまう人もいるが、カップルを構成する二人の結婚に関連したホームページはブライダル情報サーバ103に存在し、そのURLは固定的なので、このサイトにアクセスすることで問題は解決する。なお、ブライダル情報サーバ103に格納されたこの情報が人生の後半を受け持つ他のサーバに引き継がれるような場合があったとしても、URLを新たなサーバのそれに引き継ぐ処

理を行うことで、アクセスは孫の代まで可能となり、いわゆる家系図がネット上に構築されることになる。そうすれば、結婚式のときに新郎や新婦の家系を辿りながらの紹介も可能になる。

【0039】図2は、カップルの時間的な経過を示すだけでなく、結婚式に関与した人々の繋がり、およびブライダル情報サーバ103の管理者としてのホテルの関与についても示している。ブライダル情報サーバ103は電子的にあるいはネットワークを介して人々を1つのサイトに集合させる力を持っている。結婚式は多くの人間を1つのきっかけで集めて交流を図る絶好の場であり、ここからホームページを介してあるいはお互いが公開した電子メールを介して横の繋がりが発生し、発展できる可能性が生じる。これが結婚した当人の人生にも大きくプラスになることはもちろんである。

【0040】また結婚式を担当したホテル側は同様にこれらの者の電子メールのアドレスや住所に関する情報を取得しているため、これらの者の同意を得て、また興味を示す分野で各種情報を提供することができる。これにより、ホテルおよびレストラン等のホテル関連施設あるいは関連会社に対する顧客の取り込みとこれらの顧客に対する特別のサービスの提供という双方の利点を得ることができる。特にカップルが社会的に実績のある者あるいは独自の生き方を追求している者であったり、親族にそのような者がいるような場合、あるいは一流のホテルがブライダル情報サーバ103を管理しているような場合には、顧客の中に優れた人材があることは当然想定される。このような顧客が結婚式を縁としてブライダル情報サーバ103にアクセスすることは、お仕着せの従来のテレビジョン等による広告とは違った自主的なアクセスであり、ブライダル情報サーバ103の管理者としてのホテルの良さを自然に伝えることが可能になる。

【0041】このようにブライダル情報サーバ103を使用した広報効果は、高価な広告費が必要ないだけでなく、従来の広告のターゲットに入っていなかった階層を大きく取り込めるという効果がある。また、結婚前の若い世代はこのようなサイトを訪れることでそのホテルでの結婚を考えるチャンスとなり、特に披露宴に参加しなかったような人も、そのホテルの披露宴の独自性を理解することができる。またこのような結婚準備軍に対して電子メール等の登録を行わせれば、彼らに必要な情報を提供して新たな顧客として確保することができる。

【0042】図6は、以上の実施例で説明したブライダル情報システムの機能的な概念を総括的に表わしたものである。ホテル102の管理するブライダル情報サーバ103には、結婚式を挙げるカップルごとに、ウェブ上のサイトに対応した記憶領域161が用意される。この記憶領域161は容量が可変である。記憶領域161は、カップルおよびこれから発展する家族のデータ記憶領域としての当事者領域162と、結婚式に出席した出

席者のデータを格納する出席者領域163を概念的に有している。また、祝電メールやその他の電子メールを格納して公開するメール公開領域164や、結婚式の写真等を格納して公開する結婚式記録領域165も概念的に有している。結婚した当人および出席者ならびに出席できなかった友人等は、パーソナルコンピュータ106あるいは図1に示した無線端末107、108を介してブライダル情報サーバ103にアクセスしてサイトを閲覧したり、キーボード等の入力手段を使用して祝電メールを書き込んだり、電子メールを出席者166との間で交わしたり、更にはクレジット会社167や銀行を介してインターネット上で入出金処理を行うことができる。

【0043】また、ホテル102およびその関連施設や関連会社169は、電子メールのアドレス等のアドレス情報を使用して出席者166に情報を提供し、顧客として確保すると共に、各種特典を与えたサービスを提供することになる。

【0044】変形例

【0045】以上、1つの結婚式を例に挙げてブライダル情報システムを説明したが、このシステムは従来の結婚式の問題をインターネット社会で解決するものとして各種の変形が可能である。

【0046】たとえば引き出物についての問題がある。従来から引き出物は結婚を行おうとするカップルの頭を悩ますものであるが、結果的にはもらった本人が処分に困り廃品同様の扱いをすることが多い。特に商品の多様化とこれら商品の選択の個性化が進んでおり、もらって感謝される商品の選択は困難である。また、大きくて重い引き出物を渡されると、これを式場から持ち帰らなければならないためにその後の行動が規制されるという問題もある。従来の祝電同様にこれをインターネット上で解決することが可能である。

【0047】図7は、引き出物を処理するための画面の一例を表わしたものである。ディスプレイ106Dには「引き出物コーナ」が表示されている。ここでは引き出物を希望するか、引き出物を辞退してこれにかわる相当額を難民等に役立てる寄付を希望するかの選択がとれるようになっている。引き出物を希望する場合にはプルダウンメニュー用の窓201をマウス等で押すことで商品のジャンルあるいは具体的な商品を選択することができるようになっている。また、引き出物の受け取りの方法も持ち帰りと郵送あるいは宅配便による配達を選択できるようになっている。本人が寄付を希望した場合には、寄付の対象を1つまたは複数選択することができるようになっており、その額および割合は一任事項で、全員の寄付の総額が後でインターネット上で報告されるようになっている。

【0048】以上の事項を記入したら、本人が氏名を氏名記入欄203に記入してID記入欄204に自己に対して発行されたIDを記入して送信ボタン205を押せ

ば、引き出物の処理が終了する。送信を見合わせたり、再度記入する場合にはクリアボタン206を押せばよい。IDを記入させることにしたのは、本人の意思を尊重するためである。

【0049】実際にお祝いを包む額も人によって異なる。そこで、所定のプログラムを用意して希望した商品に対してお祝いの額に対応したランクの選択を行った、商品の量を変えるようにすることができる。もちろん、ランクを付けなくてもよい。寄付の金額についてランクを付けてもよいが個人個人の寄付の額を公表することは適切でない場合がある。そこで寄付をした人の氏名のリストと寄付の総額を公表することにして、透明性を高めることにしている。結婚式によっては挙式を挙げるカップルの意思として特定の組織等に寄付を行うことを明示し、その額と全員の氏名をホームページに載せて引き出物を全廃することも可能である。なお、引き出物の郵送が多い場合には、製造者と提携して製造先から発送させることで流通を合理化することが可能である。

【0050】以上の合理的な考えを更に推し進めると、インターネット上で結婚の祝い金をクレジット決済することも可能になる。金額を決めるには、結婚の当事者であるカップルの意思も反映させた金額決定プログラムを用意しておいて、サイト上で祝い金を送る本人が各種の枝を選択することで推奨額を提示させるようにしてもよい。結婚式一人あたりの必要な費用も参考に示すことで、より透明でオープンな結婚式を挙げる可能性がある。

【0051】また、先に説明したようにブライダル情報サーバ103が永続性を有するものであれば、カップルのその後の生活によって生じる祝い金についても、ネット上で送金処理を行うことが同様に可能である。たとえば出産祝、子供の入学祝、合格祝等である。また、ブライダル情報サーバ103が特別割引で玩具や赤ちゃん用品のショッピングサイトと提携することによって、結婚式に関与した者はこのような商品を低料金でカップルに送ることができる。

【0052】なお、実施例ではブライダル情報サーバをホテルが管理する場合を説明したが、神社、通常の会社等が同様に管理することは可能である。

【0053】

【発明の効果】以上説明したように請求項1記載の発明によれば、インターネット上に結婚情報蓄積サーバを用意し、結婚する二人およびその後の二人の築く家族の情報を当事者領域に逐次書き込むことができるようにすると共に、結婚式の出席者の情報をそのリンク先と併せて結婚情報蓄積サーバの出席者領域に書き込むようにしたので、当事者領域への書き込みと公開によって例えば二人の結婚前の歴史が分かり、関係者の理解度も高まる。また結婚後も家族の成長等を公表していくことで、電子メール等の通信手段と併せて遠くの者であってもいろいろ

ろと情報を交換したり子供についての悩み等を相談し、結婚式の出席者同士が長く交際を続けることができる。また、転勤や住所の移転があっても結婚情報蓄積サーバを通じて連絡場所が確保されると共に、結婚当事者にとっては結婚情報蓄積サーバへの書き込みの継続によって人生の大きな部分の足跡を記録することができる。特に親から子へと家族の情報が受け継がれていくと、電子的な家系図および先祖の活躍の歴史といったものまでウェブ上に作成し保存することが可能になる。また出席者の情報がその所在を表わした電子メール等のリンク先の情報と共に結婚情報蓄積サーバに書き込まれるので、結婚式を利用した新たな人脈の確立が可能になる。

【0054】また請求項2記載の発明によれば、請求項1記載のブライダル情報システムに、出席者データ書込手段に書き込まれた結婚式の出席者に対してこれらの者が活用する可能性のある情報を配信する情報配信手段を具備することにしたので、ホテル等のブライダル産業およびこれに関連した産業が、結婚式に参加した者に電子メールやダイレクトメールを送り、顧客として確保することが可能になる。特にブライダル産業は若い人を主にターゲットとした産業であり、その顧客としての将来に対する価値が大きく、顧客側に対する特典の提供で双方の利益に繋がることが多い。

【0055】更に請求項3記載の発明によれば、請求項1記載のブライダル情報システムで結婚式の参加予定者の電子メールのアドレスを登録する電子メール登録手段と、この参加予定者からの結婚式前の電子メールおよび参加できない者からの祝電に代わる電子メールを受信してこれらの中から所定のを結婚情報蓄積サーバのメール公開領域に書き込むメール書込手段とを具備させた。すなわち、請求項1記載の発明で結婚情報蓄積サーバがインターネット上に配置される利点を生かして、電子メールのアドレスを結婚式の前からサーバ側に登録し、祝電メールを受け付けて公表し、結婚式に向かってムードを盛り上げると共に、結婚式に参加できなかった者の祝電を公開することができる。このように関係者の電子メールを登録することで、出欠等の連絡をスムーズにし、祝電メールの登場で、結婚式に間接的に関与する人間の数を増加させることができる。また、旧来の電報による祝福と比べて経済的であるばかりでなく、文章の長さやスタイルが自由になり、画像や音声を加える等の手法も採ることができて、祝福の気持ちがよりストレートに伝わるといった利点もある。

【0056】また請求項4記載の発明では、請求項1記載のブライダル情報システムで結婚式の写真、ムービー、スピーチ等の記録を結婚情報蓄積サーバの結婚式記録領域に書き込む結婚式記録書込手段を具備させたので、これらサーバによって公開されることで、これらの写真等を共有にし、必要なものを個人がダウンロードして保管あるいはプリントすることが可能になる。これにより発

送側の費用と手間の削減を図ることができる。更に、多くの人が写真等の記録を見るために結婚情報蓄積サーバへアクセスするので、結婚式の宣伝にもなる。

【0057】また、請求項5記載の発明によれば、請求項1記載のブライダル情報システムで結婚情報蓄積サーバは、結婚祝いおよび出産、入学祝等の送金処理をインターネット上で行う送金処理手段を具備することにしたので、入出金処理の明確化と簡素化を図ることができるだけでなく、たとえば孫の誕生日や試験の合格を電子メールで知ったお爺さん等が遠隔地であっても直ちに祝いを送金処理することができる。

【0058】更に請求項6記載の発明によれば、請求項1記載のブライダル情報システムの結婚情報蓄積サーバに予算と対応付けて結婚式における引き出物の一覧を提示する一覧提示手段と、この一覧の中から引き出物を選択させる引き出物選択手段を具備させることにしたので、商品の選択が個性化した現代で真に喜ばれる記念品を実現することができる。

【0059】また請求項7記載の発明によれば、請求項6記載のブライダル情報システムで、選択された引き出物の発注を行う引き出物発注手段と、この引き出物発注手段によって発注された引き出物のうち発送を希望する者に対してそれぞれの送付先に発送する引き出物発送手段とを結婚情報蓄積サーバに具備させたので、引き出物をインターネット上で選択すると併せて発送もインターネット上で注文を受けるようにして発注から発送までを合理化すると共に、結婚式場から重い荷物を持って帰る不便さを解消することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例におけるブライダル情報システムの構成の概要を表わしたシステム構成図である。

【図2】ブライダル情報サーバを中心としてブライダル

情報システムがどのように作動するかを表わした説明図である。

【図3】本実施例で婚約時に立ち上げられたサイトの表示画面の一例を示したディスプレイの表示画面の平面図である。

【図4】結婚式が行われた時点でのそのカップルのサイトの表示画面の第1ページ目を表わした説明図である。

【図5】本実施例における祝電メールのページの一例を表わした平面図である。

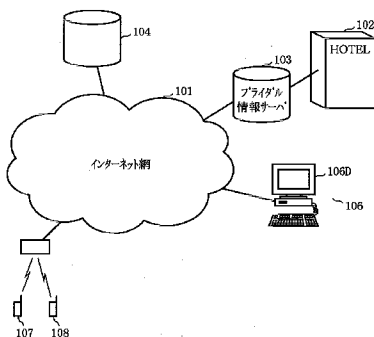
【図6】実施例で説明したブライダル情報システムの機能的な概念を総括的に表わしたシステム概念図である。

【図7】本発明の変形例において、引き出物进行处理するための画面の一例を表わしたディスプレイの平面図である。

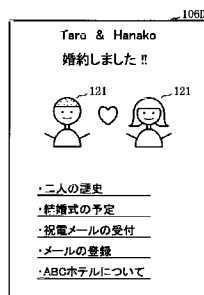
【符号の説明】

- 101 インターネット網
- 102 結婚式場
- 103 ブライダル情報サーバ
- 104 旅行業者のサーバ
- 106 パーソナルコンピュータ
- 106D ディスプレイ
- 107、108 無線端末
- 142 祝電メール本文
- 161 ウェブ上のサイトに対応した記憶領域
- 162 当事者領域
- 163 出席者領域
- 164 メール公開領域
- 165 結婚式記録領域
- 166 出席者
- 167 クレジット会社
- 169 関連会社

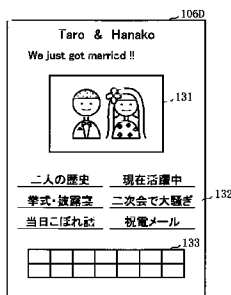
【図1】



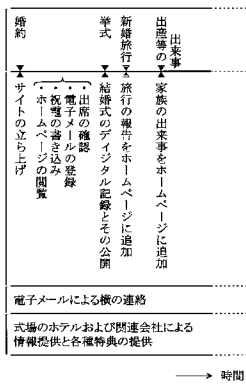
【図3】



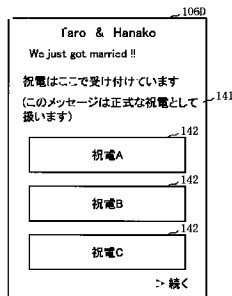
【図4】



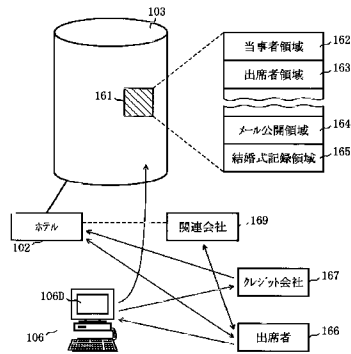
【図2】



【図5】



【図6】



【図7】

